国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

平成２８年１月１８日
北　海　道　開　発　局
札　幌　管　区　気　象　台

お　知　ら　せ

件　名	発達した低気圧の影響による暴風雪や大雪に対する注意喚起

お知らせ内容

北海道地方は、１８日昼過ぎから２０日にかけて、発達する低気圧による悪天候に関して、札幌管区気象台から「暴風雪と大雪及び高波に関する北海道地方気象情報」を発表しています。

「ふぶきによる視程障害や吹きだまり」により、交通障害が発生するおそれもあります。最新の気象予報や道路交通状況等を確認していただき、不要不急の外出は避けていただくとともに、万全な備えをお願いします。
なお、放置車両や立ち往生車両等によって、緊急通行車両の通行の妨げとなる場合は、災害対策基本法に基づく区間を指定し、車両移動を行うことがあります。

最新の気象情報や道路情報は、こちらを御覧ください。
気象情報：http://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/101_index.html
道路情報：http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/RoadInfo/index.htm

●道路に関する問合せ先

問合せ先	所　　属	役　職　名	氏　　名	代　表　電　話
	北海道開発局 道路維持課	課長補佐	森山　崇	０１１－７０９－２３１１ 内線　５８２１
	北海道開発局 道路維持課	道路防災専門官	長谷川　雄一	０１１－７０９－２３１１ 内線　５８２２

●気象に関する問合せ先

問合せ先	所　　属	役　職　名	氏　　名	代　表　電　話
	札幌管区気象台 気象防災部　予報課	主任予報官	山下　龍平	０１１－６１１－６１２４

今後の気象の見通し

（別紙1）

北海道開発局
札幌管区気象台

○ 北海道地方(太平洋側東部やオホーツク海側を中心に)では、18日昼過ぎから20日にかけて雪を伴った非常に強い風が吹き、大雪や見通しのきかない猛ふぶき、吹きだまりにより車の運転が困難になるなどの交通障害、暴風、高波、高潮に警戒してください。

○ 急な天候の変化により、見通しがきかなくなり立ち往生等に警戒が必要です。外出される際は、事前に気象情報や道路情報を十分に確認していただき、不要不急の外出は避けていただくとともに、万全の備えをしていただくようお願いします。

【今後の気象の見通し(警戒期間)】

	18日			19日			20日
地域 / 時間	朝	昼	夜	朝	昼	夜	
日本海側							以後も続く
							以後も続く
太平洋側							以後も続く
							以後も続く
オホーツク海側							以後も続く
							以後も続く

凡例：暴風雪　大雪

＜風の予想＞
18日から19日にかけての最大風速(最大瞬間風速)
北海道地方
陸上23メートル(35メートル)
海上28メートル(40メートル)
20日にかけて非常に強い風は続く見込みです。

＜雪の予想＞
18日12時から19日12時までの降雪量
北海道地方の多い所　60から80センチ
19日12時から20日12時までの降雪量
オホーツク海側の多い所　100から120センチ
日本海側や太平洋側東部の多い所　60から80センチ

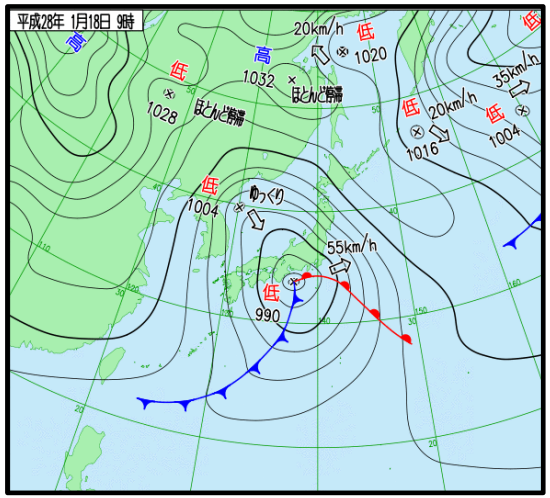
詳細な気象情報は、気象庁HP
(http://www.jma.go.jp/jma/index.htm)を御覧ください。

【気象概況】

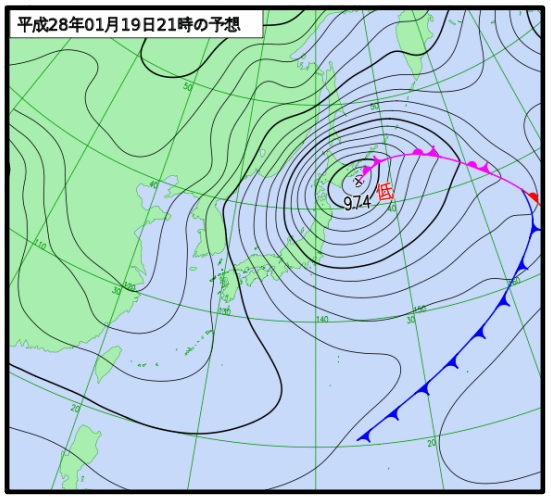
◆ 低気圧が急速に発達しながら19日朝には釧路沖に達して動きが遅くなり、20日にかけて根室の南東海上をゆっくりと東に進む見込みです。

◆ 北海道地方では、18日昼過ぎから20日にかけて、雪を伴った風が非常に強くなり、全道的に暴風雪となる可能性があり、オホーツク海側や太平洋側東部を中心に大雪となる見込みです。

【天気図】



18日9時の実況天気図



19日21時の予想天気図

道路管理者からのお願い

（別紙２）

北海道開発局
札幌管区気象台

〇今後の悪天候に備え、十分な除雪体制を構築しておりますが、道路の通行の安全確保ができない場合等に おいては、道路の通行止めを行う場合があります。

〇安全な走行が困難な場合は、無理をせず最寄りの「道の駅」や「コンビニ」等で、天候回復をお待ちいただけますよう、お願いします。

【暴風雪等への備えと対応】

外出の際は車内に以下の備えを

※上記は備えの一例であり、天候等に合わせた万全な備えをお願いします。

立ち往生し救助を求めるときは

●立ち往生してしまった場合は、ハザードランプ点灯や停止表示版等により、停車していることが他の車や周囲にわかるように表示。

●道路管理者や警察・消防等に救助を求める場合は、出来るだけ位置を正確に伝える。

※国道での位置は、道路脇の1km置きに設置された標識を確認。

立ち往生して車内で救助を待っているときは

●車で走行中に立ち往生してしまい車内で救助を待つときは、低体温症や凍傷、排気ガスによる一酸化炭素中毒にならないように十分注意が必要です。

原則エンジン停止

一酸化炭素中毒の危険をなくすにはエンジンを切ることが大切です。防寒着や毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。

一酸化炭素中毒の危険性

車が雪に埋もれたときにエンジンをかけ続けると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険性が生じます。
埋もれる深さが深いほど危険です。

エンジンをかけるときは

防寒等でやむを得ずエンジンをかけるときには、排気管出口を確実に大気へ開放し、追加の降雪や吹きだまりによる再埋没に注意しましょう。

※窓を開けていても風向や窓の開度等の条件によっては、一酸化炭素中毒の危険性があります。

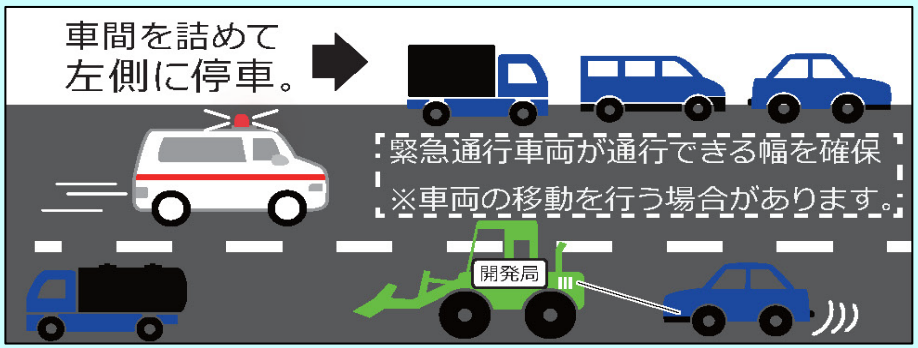
災害対策基本法による車両移動　（別紙３）

国土交通省 北海道開発局

○災害対策基本法改正(平成26年11月21日施行)により、大規模災害発生時における緊急通行車両の通行ルートを確保するため、道路管理者による放置車両等の移動が可能となりました。
○緊急通行車両の通行を確保する緊急の必要がある場合は、災害対策基本法に基づき、道路管理者が区間を指定して、放置車両・立ち往生車両等の移動を行う場合があります。

【区間を指定し車両移動を行うケース】

【車両をおいて避難する際の留意事項】



※車両を置いて移動される場合は、**連絡先や避難場所等を掲示**していただくとともに、**鍵を付けたまま**での避難に、御協力をお願いします。

【道路管理者による車両の移動方法】

➢車両に鍵が付いている場合　～　**道路管理者の運転による移動**
➢車両に鍵が付いていない場合　～　**重機等による移動**

※車両移動の指示があった場合は、道路管理者の指示に従い速やかな車両移動へ御協力を。
※移動通知書は、移動前付近の構造物等にも掲示。

【車両の移動時における損傷】

➢道路管理者等により車両を移動した際の損傷(窓ガラスの破損、車両のへこみ等)については、補償の対象となりますので移動通知書に記載の問合せ先に、御連絡願います。

道路情報や気象情報等の提供

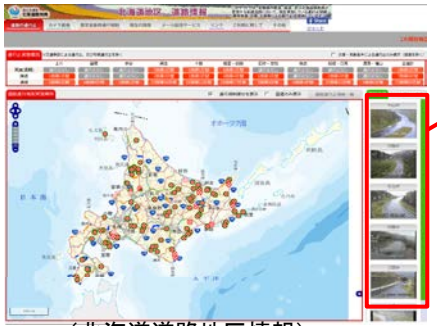
（別紙４）

北海道開発局
札幌管区気象台

冬期の悪天候時には、最新の各種道路情報や気象情報を確認願います

■ 北海道地区道路情報

国道・道道の規制情報、道路気象情報、道路画像情報をWebページで提供
PC・スマートフォン・携帯　URL：http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/



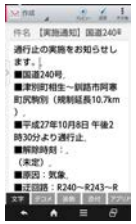
（北海道道路地区情報）

▲二次元コード

静止画像と気象データ（気温、路温、風速、時間雨量、積雪深）を見ることが可能

■ メール配信サービスやSNSを利用した通行止め情報の発信

スマートフォンや携帯への通行止め情報の配信やTwitterとFacebookにより、国道、高規格幹線道路の異常気象、災害による通行止め情報を発信。



（メール配信画面）

▼二次元コード

（Facebook画面）

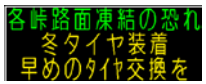
Twitter　Facebook

▲二次元コード

■ 気象庁発表の気象情報を踏まえた道路利用者への情報提供

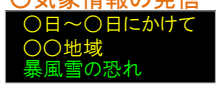
道路情報板に道路利用者へ予告情報「早めのタイヤ交換」、「通行止めを行うことがあります」等を周知。

＜初冬期＞

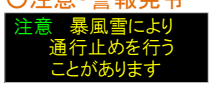


＜暴風雪時＞　※下記は、道路情報板表示のイメージ図

○気象情報の発信



○注意・警報発令



○通行止め

■ 北の道ナビ（吹雪の視界情報）＜寒地土木研究所提供＞

吹雪の視界情報等の情報を集約した情報提供サイト。

▸視界情報　▸吹雪の投稿情報
▸気象警報・注意報　▸通行止め情報
▸メール配信サービス

●下記の語句で検索いただくか、次のURLをご入力下さい。

PC版
吹雪視界　検索
URL http://northern-road.jp/navi/touge/fubuki.htm

スマートフォン版
URL http://northern-road.jp/navi/touge/sp/fubuki.htm

ケータイ版
URL http://n-rd.jp/

■ 道路情報提供施設（国道情報連絡所、道路情報連絡所）

コンビニやガソリンスタンド等に協力いただき、道路管理者からの通行止め情報「i-Fax」を店舗内に掲示。

国道情報連絡所　386施設
道路情報連絡所　508施設
（平成27年10月16日現在）

国道情報連絡所

▲掲示例

■ 警報・注意報や気象情報

気象庁や各地の気象台における警報・注意報の発表状況や最新の気象情報を提供。URL：http://www.jma.go.jp/jma/index.html

▲二次元コード

過去の低気圧による被害状況

（別紙５）

北海道開発局
札幌管区気象台

○過去には、発達した低気圧の影響で、国道の通行止め発生や公共交通機関の運行が停止するなど、大きな被害が発生しております。

【過去の暴風雪や大雪による道路状況】

➢平成16年1月13日から16日かけて、発達した低気圧の影響により、十勝地方では50cmを超える降雪や網走地方では、記録的な大雪となった。

➢広い範囲で暴風雪や大雪の影響により、国道の通行止め発生や公共交通機関の運行が停止し、物流や住民生活に大きな影響が発生。

大雪による立ち往生の発生

ふぶきによる立ち往生の発生